



2016~2017

沼田ロータリークラブ会報

人類に奉仕するロータリー
ROTARY SERVING HUMANITY

2016~2017年度 国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

例会日…毎週火曜日 12:30 会長 小菅茂雄 幹事 西田俊太郎 会報編集 綿貫利彦
例会場 ティラン 事務所 沼田市西倉内町669-1 沼田商工会議所3階 TEL 0278-24-1177

第2917回 例会報告
2017年1月17日

記録 綿貫利彦

例会予告

1/24	利根沼田フィルムコミッション 西田幹事
1/31	未定

<http://www.rid2840.jp/numata/>

2017年1月24日発行 No.27

陶芸の世界

陶芸家 ユアン・クレイグ 先生

■卓話者紹介

吉野 登君

先生は現在旧新治地区の東峰で陶芸をされています。1964年メルボルン生まれで、14才で陶芸と出会い、大学で専攻されました。90年に日本に来て、91年益子町で修業され、独立しましたが2011年大震災で被災され、現在の所に来て窯を築き、創作活動をされています。

■卓話

日本に来て四半世紀が過ぎ、妻と小学生の子と東峰にいます。14才の時陶芸を知り、オーストラリアでは15才の時に進路を決めて将来どんな仕事をしたいか決めます。美術系を考え、消去法で考え残ったのが陶芸でした。

アルバイトで陶芸を手伝い、大学で専攻して、コンクールなどにも入賞したりするまでになり、卒業して自分の窯を作り独立しました。

ある時、益子の工房から誘われました。益子は民芸で有名でしたので知っていて、チャンスと思い日本に来ました。

益子で1年修業を行い、島岡達三師の門に入りました。先生は民芸陶器部門で人間国宝の方で、その父は組紐の先生で、陶芸は縄文模様や朝鮮模様などの作風です。民芸は昔のままを作るのではなく、基本の中に新しいものを取り入れて時代に合ったものを作るもので、自分の道を見つけるよう指導されていました。

2000年に益子の隣の市貝町に移り、大正時代の古民家を借り窯を作りました。当時は電気やガスがほとんどでしたが、自然と共に作品を作りたいだったので、薪窯にしました。



その窯も自分ひとりで作り、レンガを使い火力が上がるように火が中で回転して、14時間で温度が1300度になるようにしました。薪の灰が薬に入り人間と自然が協力して作品が仕上がります。自由な表現の中で良い物を作るのには多くを焼くことです。

「器は使って初めて完成する」を信念としています。生活はいつも陶芸とつながり、陶芸はいつも生活につながっています。家族がいて自分がいて陶芸があります。自分の知識、センス、哲学、信念、技術を使い作品を制作し、薪窯により自然の力を借りながら焼き上げ、使い手がそこに料理を盛り付けて初めて作品が完成します。多くの共同作業で成り立っています。

作品は、自分でブレンドした半磁器の粘土で器を成形し、火匏や縄文の技法なども用いています。そして青磁釉や、漆の黒をイメージして調合した透明感のある黒釉などを用いたりもしています。薪窯で焼成し、灰被り、焼き締めはもちろん、イ草火襷、ソーダ灰を用いて、還元での窯焚きをしています。作品はオレンジ色の緋色や、灰被りのグレー掛かった色合いが主です。また、藁ではなくイ草による火襷で緋色をつけるのが特徴の1つです。取っ手にも特にこだわりを持っています。持ちやすさ、美しさ、丈夫さを考え、1つ1つ伸ばし付ける技法で制作しています。

2011年大震災により、家が崩壊してしまい更に福島原発事故により、妻の実家がある

東峰に家族で避難しました。親戚の人から家を借りて、1年かけて自分達で直し、窯も作って工房で作家活動と新生活を始めました。

できるだけ自然を取り入れたくて、昔の日本人の生活に一番近いと思うくらいです。電気もあまり使いたくなく、照明も自然光をなるべく使い、窯も当然薪でレンガで作りました。薪も放射能が付いていないか検査して使います。放射能が森林に降り残っているのを使っていると火から被爆しますし、作品にも残ります。

安心安全な作品を使って楽しく食事をしたり、おいしくあじわっていただくのが一番幸せと思います。ぜひ日々の生活に民芸陶器を使い楽しんで下さい。

例 会 報 告

■司 会 吉野 登SAA出席委員

■ソング 沼田ロータリーの歌

山田龍之介君

■来賓及び来訪ロータリアン

陶芸家 ユアン・クレイグ様

会長の時間

小菅茂雄会長

連日の大雪で雪かきも大変です。今日は阪神淡路大震災の日で、1995年から22年となりました。当日は危機管理のあり方について考えさせられました。

14日はNHKBSで放映された「花嵐の剣士」幕末を生きた女剣士・中澤琴を見られたかと思えます。利根町穴原で1839年頃生まれ身長170cm位の当時としては高身長の美人だったそうです。88歳位で1972年10月に穴原で亡くなりました。幕末生まれなので戸籍で生年月日は不明です。父から剣術を学び、剣法は法神流で兄と共に達人だったそうです。法神流は金沢から赤城に来た榎本法神が開祖で、渋川には伝承会があるようです。

琴は幕府軍で維新戦争を戦い、庄内戦争を最後にして1875年に穴原に戻りましたが、自分より強い男でないと結婚しないと行って、生涯独身でした。

幸之助の日々のことばに「今という一瞬一瞬を精一杯生きる積み重ねが、充実した人生を作り出す。」とあります。琴もそうだったと思い、私も今という瞬間を大切にしていきたいと思えます。

幹事報告

西田俊太郎幹事

◎当クラブ例会変更

フィリピン訪問3月26～28日に行うので、28日例会日は訪問に充てる。

◎理事会の開催 本日例会終了後

委員会報告

◎SAA出席委員会

金子秀行委員

会員数	会場出席	メーク	出席率	前回訂正
71名	32名	3名	51.47%	75.36%

◎ニコニコ委員会

荒井静雄委員

- ・小菅茂雄君 陶芸家のクレイグさんの卓話を楽しみにして。大雪の中皆さん仕事お疲れ様です。
- ・桑原 裕君 結婚記念日に花束をいただき。あざやかさに女房も喜んでいました。
- ・金子秀行君 皆さんおめでとうございませう。正月からインフルエンザにかかり新年例会欠席、12年ぶりにかかり体力の衰えを実感。

・ニコニコ一週間 大雪の中ご苦労様です

宮澤孝幸君 荒井静雄君 西田俊太郎君
春日政志君 水石清治君 金井正樹君
宮内明彦君 阿形登氏君 松野正一君
小暮正人君 関 真一君 天野純一君
飯島千明君 割田一敏君 南雲達也君
保坂充勇君 武田 寛君

◎財団BOX IN 桑原伸一郎副委員長

小菅茂雄君 今井幸吉君 松野正一君
関 真一君 綿貫利彦君 金井正樹君
阿形登氏君 宮澤孝幸君 宮内明彦君
桑原 裕君 金子秀行君 山田龍之介君
桑原 滋君 小暮正人君 西田俊太郎君
割田一敏君 春日政志君 桑原伸一郎君
武田 寛君

◎情報史料分類選考委員会 春日政志委員

1月号友の紹介。RI会長メッセージ「問題解決に導く」でロータリーの奉仕の鍵である持続可能性について述べてます。ポリオは究極の持続可能な奉仕です。あと一步、問題解決して次のものに取り組みたいと思っております。

本田パストガバナーが職業奉仕について述べていますのでお読み下さい。

縦組ページの友愛の広場に中之条RCからの投稿でわがまちの味に長英そばが載っています。人気があるそうで皆さんも中之条へ行ったらいかがですか。